

富士ダイス株式会社

2016年3月期 決算説明会資料
(2016年5月31日)



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

FUJILLOY

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

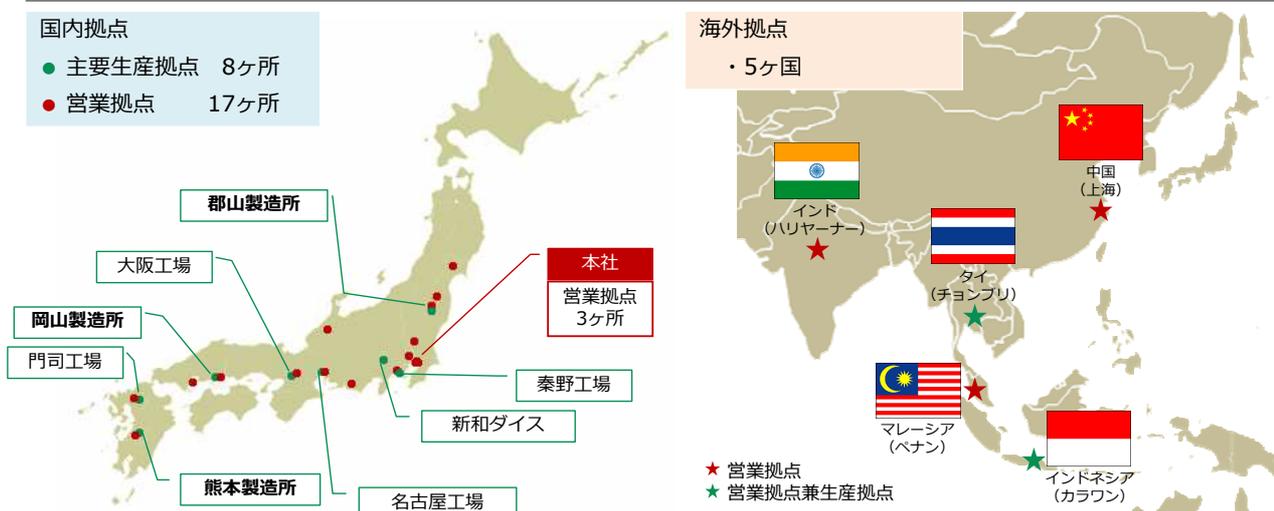
I :	会社概要	2
II :	当社の特長	9
III :	2016年3月期 業績概要	17
IV :	2017年3月期 業績見通し	24
V :	成長戦略	28
VI :	参考資料	37

会社概要

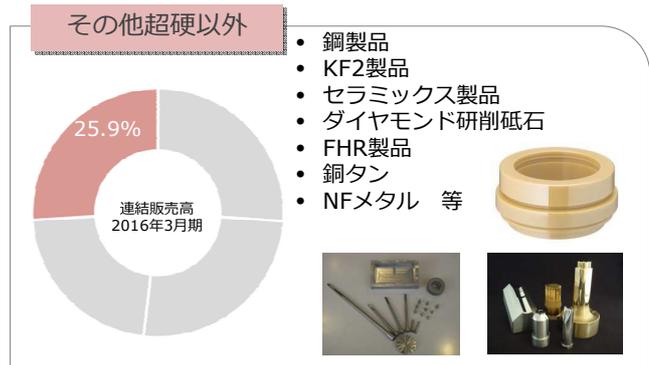
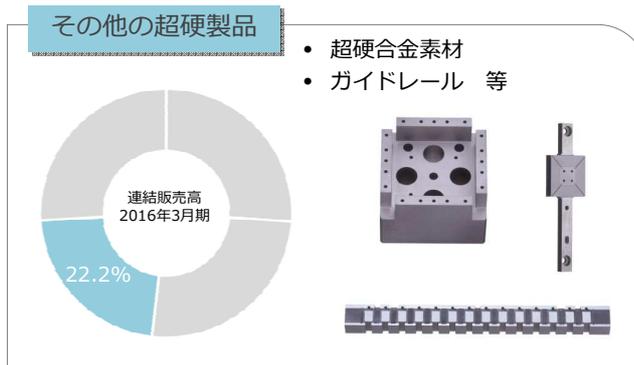
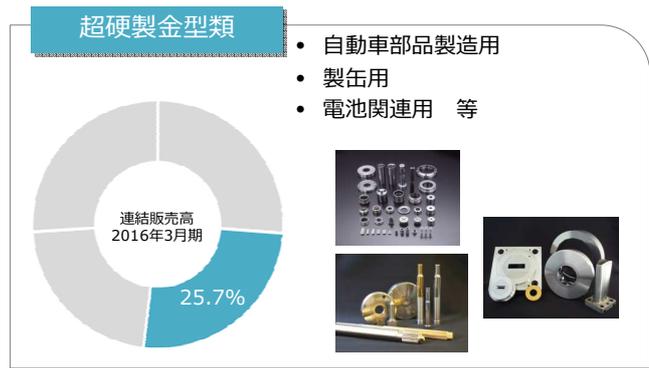
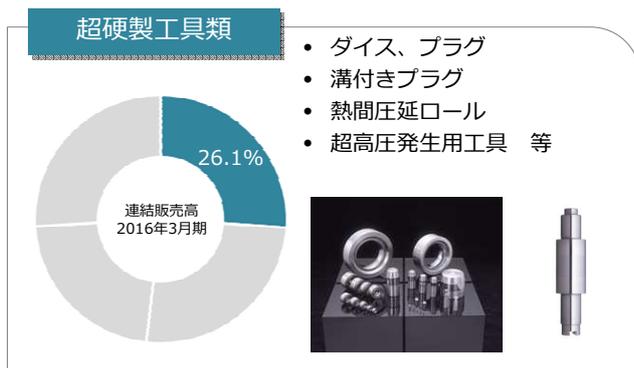
会社概要

商号	: 富士ダイス株式会社	創業	: 1949年6月
所在地	: 東京都大田区下丸子2-17-10	設立	: 1956年4月
資本金	: 164百万円	事業目的	: 超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
代表者	: 代表取締役社長 西嶋 守男	従業員数	: 1,059名 (2016年3月期末、連結)

拠点



■ 超合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化



耐摩耗工具とは？（ダイスとプラグ）

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

代表的な耐摩耗工具 ダイス・プラグ

ダイス
線材、棒、パイプ等の外径を決める工具

プラグ
線材、棒、パイプ等の内径を決める工具

【ダイス・プラグの使用例】

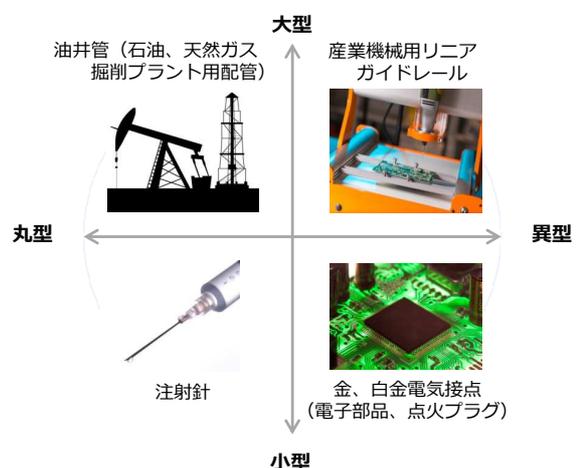
パイプ

ダイス
引き抜く

プラグ

パイプの径を調整している

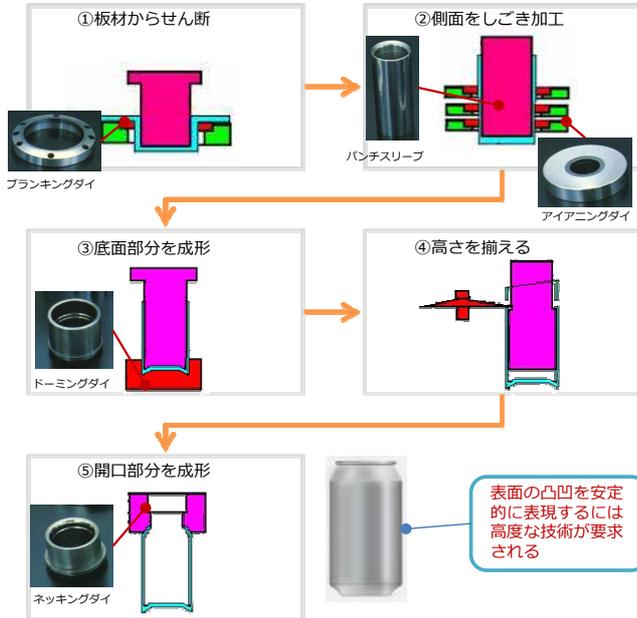
ダイス・プラグは多くの製品の製造に用いられる



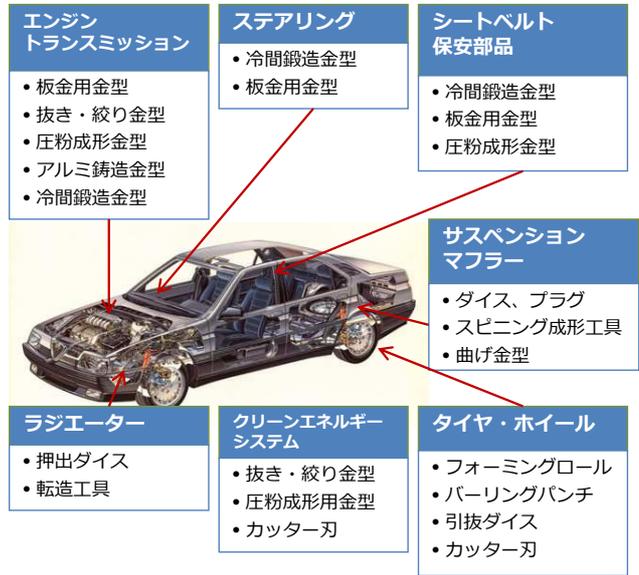
当社は単純形状から複雑形状、超小型から大型まで対応可能な技術力・設備を有しており国内トップシェアを誇る

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

飲料缶の製造工程（軽量化・薄肉化・小型化に貢献）



自動車部品の製造に多く用いられる



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

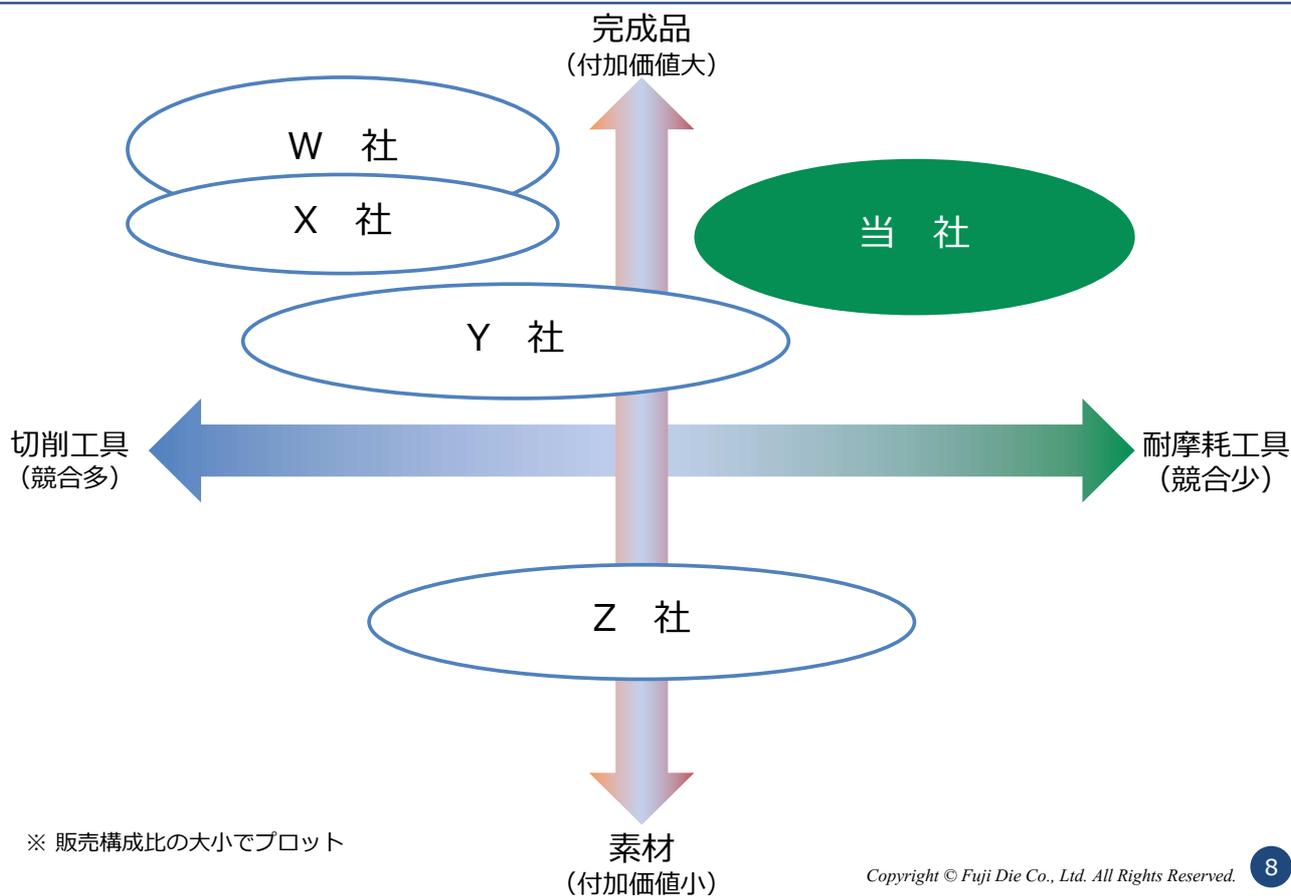
様々な製品の製造工程に用いられる

メイドインジャパンを支える大田区発の技能集団

FUJILLOY



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.



	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

POINT1

超硬耐摩耗工具業界で長期に亘り**国内トップ**

POINT2

受注生産・直販体制、**全国をカバー**するネットワーク
取引先は約**3千社**、**業種も多岐**に亘る

POINT3

一貫生産体制により様々なオーダーに柔軟に対応

POINT4

開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

POINT5

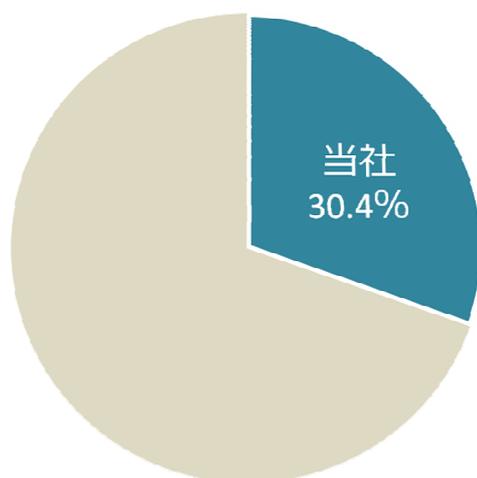
堅固な財務基盤

POINT1

耐摩耗工具専門国内トップメーカー

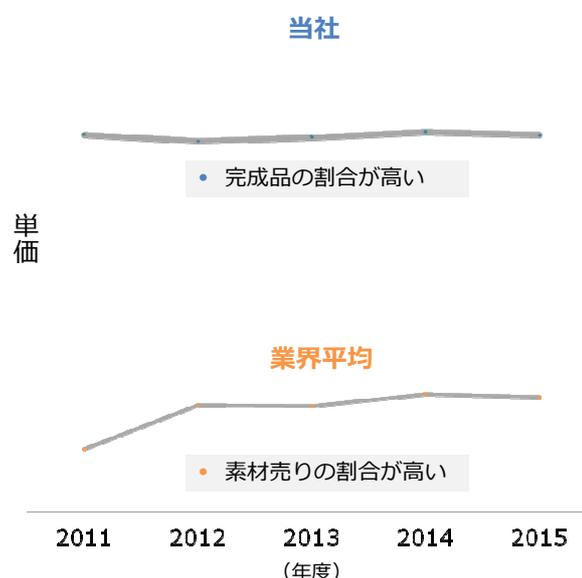
- 国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア**を堅持
- 少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定**して推移

耐摩耗工具国内出荷額シェア（2015年度）



出所：日本機械工具工業会

製品の平均単価の推移



- 業界最大の約100名の営業員による**直接販売網**を構築
- メンテナンス（修理・再研磨）により**高いリピート率**を実現

拠点網

主要生産拠点 8ヶ所

郡山、秦野、名古屋、大阪、岡山、門司
熊本、新和ダイス（山梨）

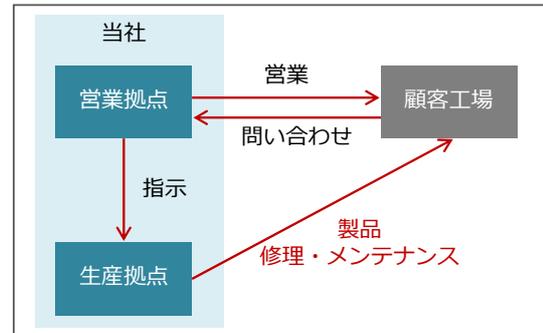
営業拠点 17ヶ所

郡山、埼玉、秦野、宮城、栃木、東京
岡山、大阪、名古屋、浜松、北陸、広島
熊本、門司、本社（ダイヤモンド、輸出部）
富士シャフト（福島）



顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより、顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能

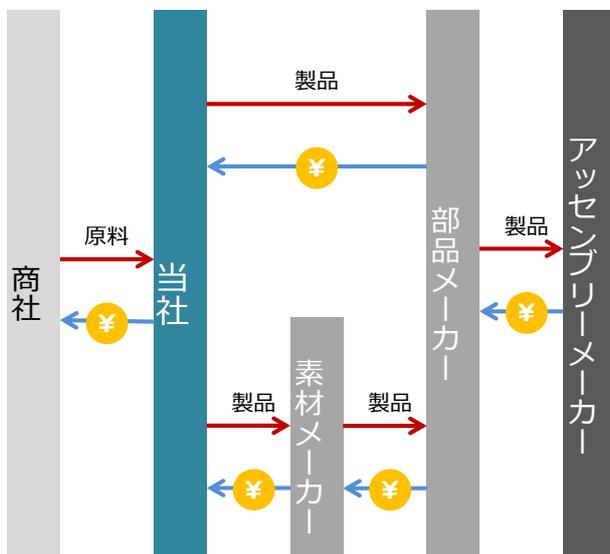


顧客ニーズ

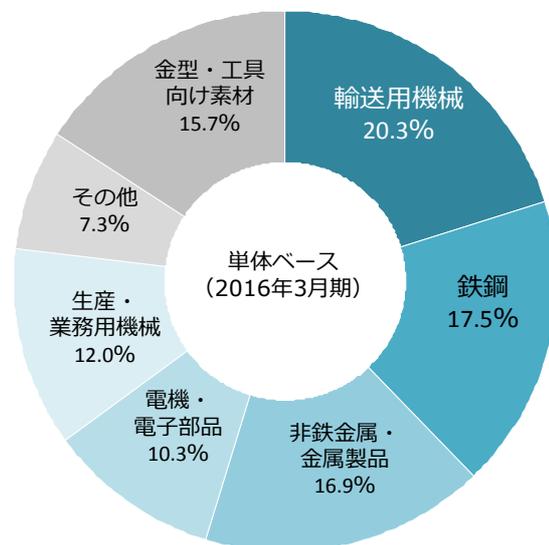
- 製品自体の耐摩耗性や精度の高さ
- 設計思想や生産体制に合った製品

- 少量多品種の顧客毎の**カスタムメイドの受注生産・直接販売**を行う
- 取引社数は**約3千社**、業種も幅広い
- 特定の系列に属さない**独立系**のため様々な業界、企業と取引が可能

事業フロー



顧客産業分類別売上構成比率



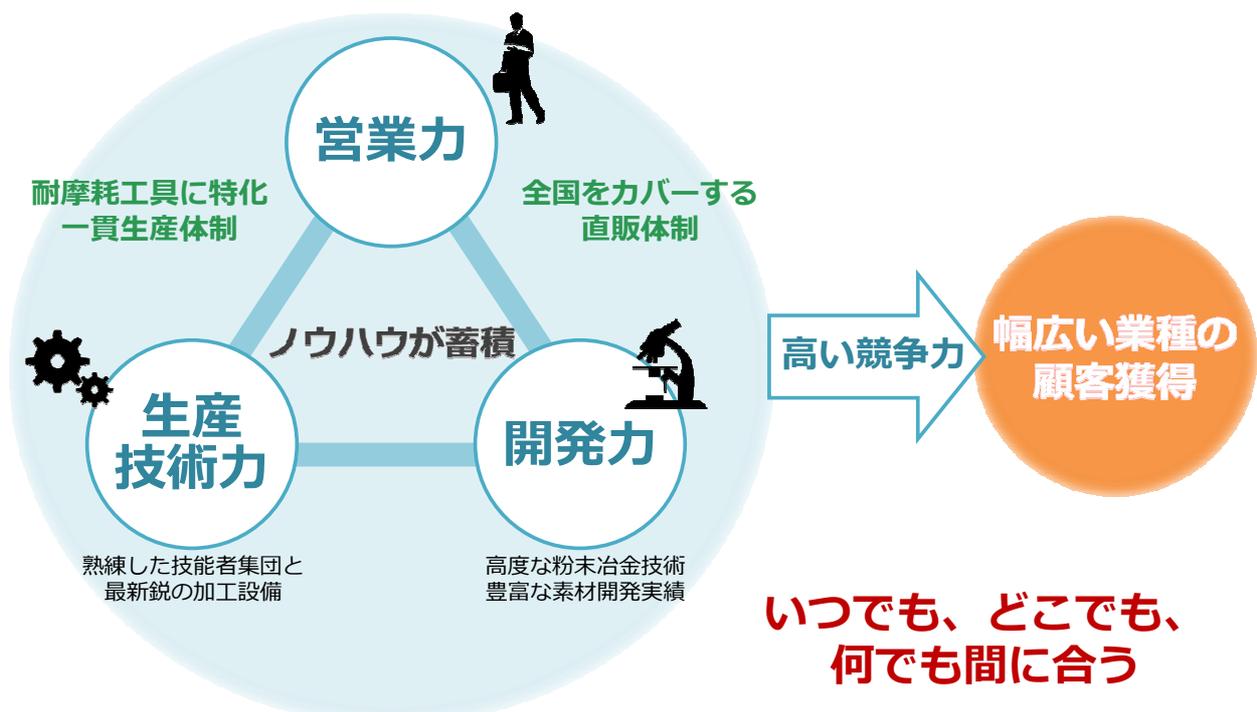
- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで一貫した受注生産体制
- 高度な粉末冶金技術と加工技術
- 様々なオーダーに対し柔軟に対応が可能（多品種・少量生産）



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

- 開発力、生産技術力、営業力が相まって、高い競争力を創出

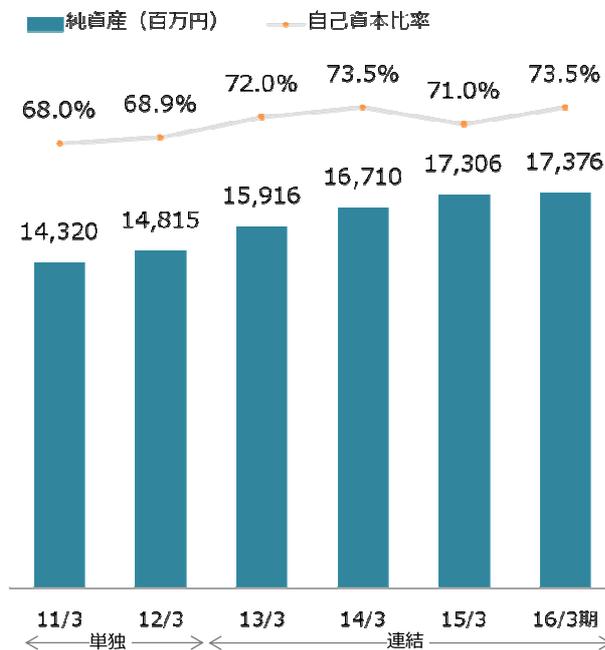


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

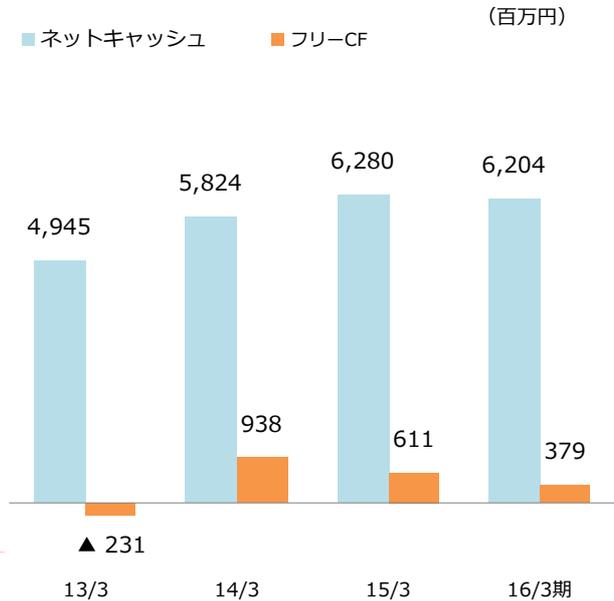
15

- 創業以来現在に至るまで**黒字経営**を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

純資産・自己資本比率推移



ネットキャッシュ残高・フリーCF推移



※ネットキャッシュ = (現預金 + 有価証券) - (短期借入金 + 1年以内返済予定長期借入金 + 長期借入金)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

page

I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

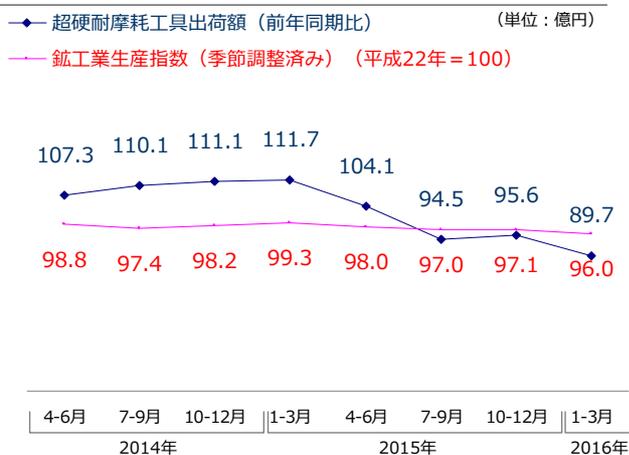
連結売上高	16,060 百万円	(前期比 98.8%) (計画比 97.9%)
連結営業利益	963 百万円	(前期比 88.5%) (計画比 95.2%)

- 売上面では、国内販売は概ね堅調であったが、海外販売においては一部の大口顧客の生産計画の下方修正、および中国を中心とするアジア新興国の景気減速に伴う影響が大きく、計画を下回って推移した
- 利益面では、売上総額の減少の影響が大きかったことに加えて、一部高採算品の粗利益率の低下もあり減益となった
- 業務効率化による収益率の向上施策として、熊本製造所の増設工事は計画どおりに進行中
- 研究開発では、成長市場において販売に至る製品が幾つか出てきている

2016年3月期の事業環境

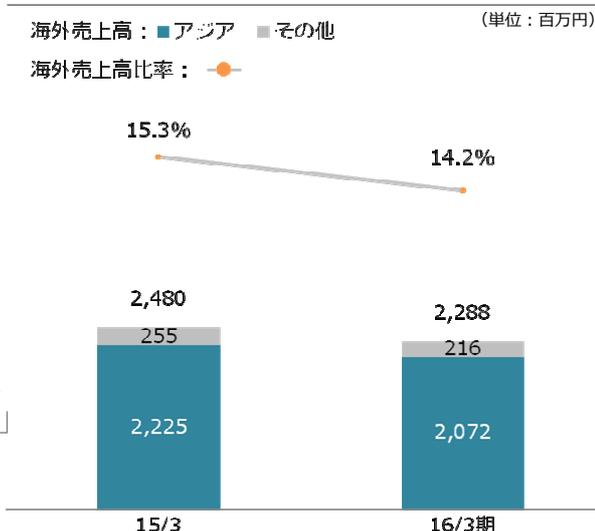
- 上期に引き続き、中国を始めとするアジア新興国経済の減速、原油価格の下落、海外の地政学リスク等の影響を受け、超硬耐摩耗工具全体の出荷は低迷した
- 海外の取引社数は着実に拡大（16年3月末現在 587社：前期末比19社増加）しているものの、大口取引先の生産下方修正の影響を大きく受けた

超硬工具出荷額推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鉨工業指数』

海外売上高・海外売上高比率推移



(単位：百万円、下段は構成比)

主な増減要因

	2015年3月期	2016年3月期	
			前期比
売上高	16,251 (100.0%)	16,060 (100.0%)	98.8%
超硬製工具類	4,411 (27.1%)	4,189 (26.1%)	95.0%
超硬製金型類	4,011 (24.7%)	4,134 (25.7%)	103.1%
その他の超硬製品	3,506 (21.6%)	3,573 (22.2%)	101.9%
その他超硬以外	4,322 (26.6%)	4,163 (25.9%)	96.3%
売上総利益	4,134 (25.4%)	3,942 (24.5%)	95.4%
販管費	3,046 (18.7%)	2,978 (18.5%)	97.8%
営業利益	1,088 (6.7%)	963 (6.0%)	88.5%
経常利益	1,130 (7.0%)	959 (6.0%)	84.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	767 (4.7%)	732 (4.6%)	95.5%

▷売上高

- 超硬製工具類：海外向け溝付きプラグ、国内向け大型パイプ用ダイス・超高压発生用工具が減少
- 超硬製金型類：製缶金型が減少、光学素子成形用金型、自動車部品生産用金型等が増加し、合計は増加
- その他の超硬製品：超硬合金チップは海外向けが減少するも、電子部品向けは増加し、合計は増加
- その他超硬以外：海外向けダイヤモンド研削砥石・引抜鋼管が減少し、合計は減少

▷売上総利益

売上総額の減少の影響大。一部高採算品の粗利益率の低下もあり減益

▷販管費

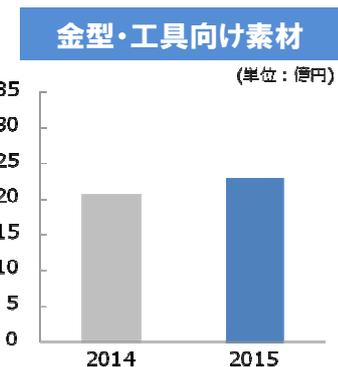
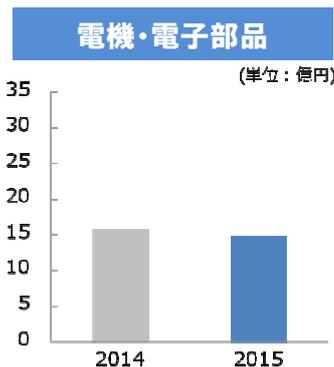
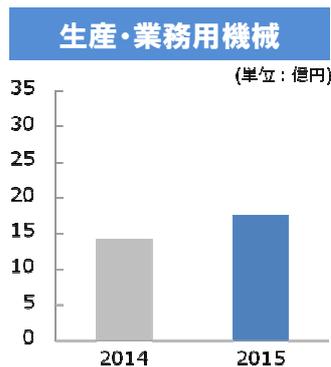
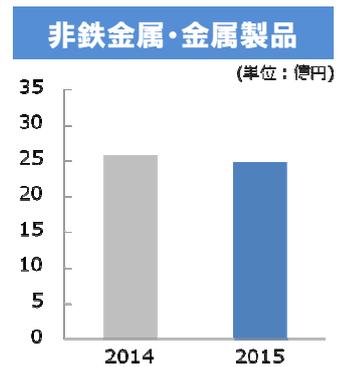
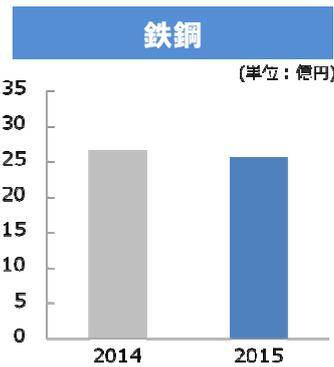
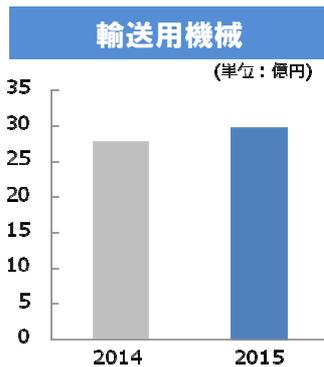
15/3期は65周年事業に係る費用を78百万円計上

▷経常利益

円高により為替差損46百万円計上
営業外費用に株式公開費用を22百万円計上

▷親会社株主に帰属する当期純利益
税引前当期純利益が減益となり減少

顧客産業分類別状況 (単体ベース、売上高)



(単位：百万円、下段は構成比)

	2015年3月末	2016年3月末	
			前期末比増減
流動資産	14,638 (60.0%)	13,995 (59.2%)	▲643
固定資産	9,745 (40.0%)	9,638 (40.8%)	▲107
資産合計	24,383 (100.0%)	23,633 (100.0%)	▲750
流動負債	4,801 (19.7%)	4,347 (18.4%)	▲454
固定負債	2,275 (9.3%)	1,909 (8.1%)	▲366
負債合計	7,077 (29.0%)	6,257 (26.5%)	▲820
純資産合計	17,306 (71.0%)	17,376 (73.5%)	+70
負債・純資産合計	24,383 (100.0%)	23,633 (100.0%)	▲750

主な増減要因

▷流動資産
受取手形及び売掛金 ▲246
仕掛品 ▲106

▷固定資産
建物及び構築物 ▲207
機械装置及び運搬具 +168

▷流動負債
支払手形及び買掛金 ▲88
1年内返済予定の長期借入金 ▲57
未払金 ▲118

▷固定負債
長期借入金 ▲82
退職給付に係る負債 +148

▷純資産
利益剰余金 +349
為替換算調整勘定 ▲139

(単位：百万円)

	2016年3月期実績
現金及び現金同等物期首残高	6,794
営業キャッシュフロー	1,286
投資キャッシュフロー	▲907
財務キャッシュフロー	▲551
現金及び現金同等物期末残高	6,583
フリーキャッシュフロー	379

主な内容

▷営業キャッシュフロー
税金等調整前当期純利益 937
減価償却費 948
役員退職慰労引当金の減少 ▲397
売上債権の減少 232
未払金の減少 ▲195

▷投資キャッシュフロー
有形固定資産の取得 ▲865
無形固定資産の取得 ▲31

▷財務キャッシュフロー
長期借入金の返済 ▲120
配当金の支払額 ▲384

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

顧客産業分類別 市場動向と当社の取り組み

需要分野	市場動向と当社の取り組み	見込み
輸送用機械	為替の影響を受け国内生産量の苦戦が予想されるが、当社においては環境対策車および次世代自動車向けの部品成形用金型を積極的に取り込んでおり、前期比増加見込み	
鉄鋼	世界的な鉄鋼の供給過剰を受け国内高炉メーカー向け工具は減少を予想しているが、新興国向けの需要取込にて前期比微増を予測	
非鉄金属・金属製品	当社主力製品のひとつである飲料缶の成形金型は増加を見込むものの、家電向けの成形金型の落込みまでカバーできず前期比微減を予測	
生産・業務用機械	光学機器用金型は前期並み。半導体製造装置や金属加工用の装置の国内生産は微増ながら、高圧関連工具の苦戦により全体では前期並みを予測	
電機・電子部品	磁石、電池向けは前期並みだが、半導体素材の成形工具の増加により全体では前期比増加を予測	
金型・工具向け素材	超硬素材はアジアを中心に、超硬以外の素材に関しては、特殊用途を中心に国内での拡販を進め、全体では前期比増加を見込む	

(単位：百万円、下段は構成比)

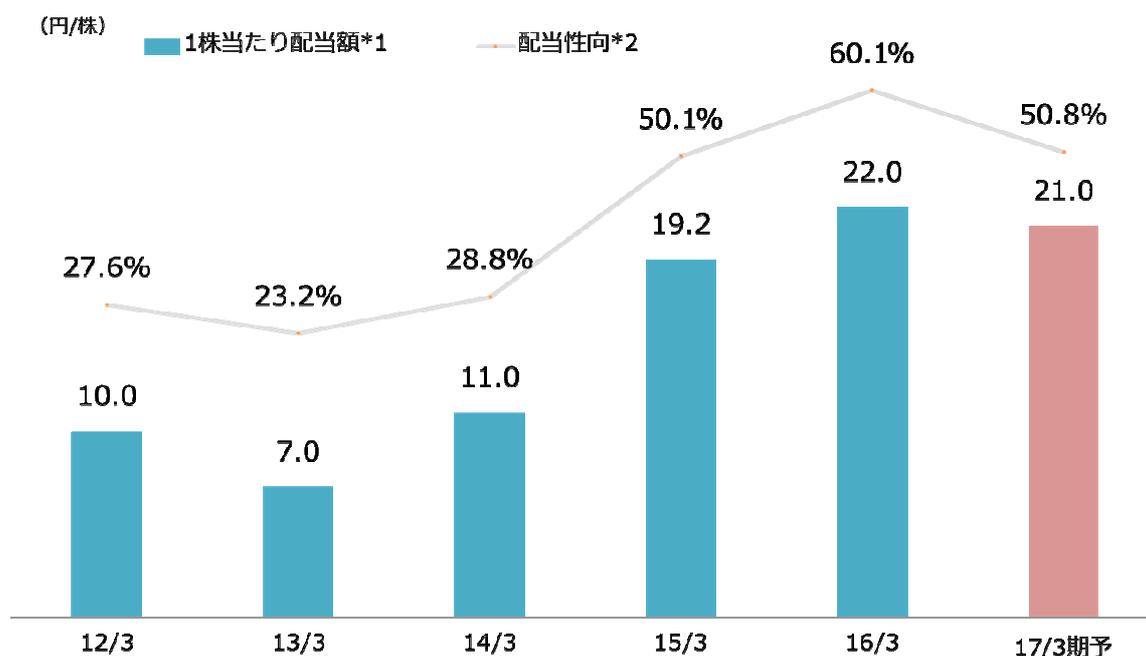
	2016年3月期	2017年3月期	
		計画	前期比
売上高	16,060 (100.0%)	16,571 (100.0%)	103.2%
営業利益	963 (6.0%)	1,086 (6.6%)	112.8%
経常利益	959 (6.0%)	1,145 (6.9%)	119.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	732 (4.6%)	827 (5.0%)	112.9%

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

26

株主還元方針

連結配当性向を50%を目処に適切な利益配分を実施



*1：15/1に1→100の株式分割を実施。遡及値。
*2：12/3は単独ベース、13/3以降は連結ベース

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

27

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

成長戦略

POINT1

業務の効率化による収益率の向上

POINT2

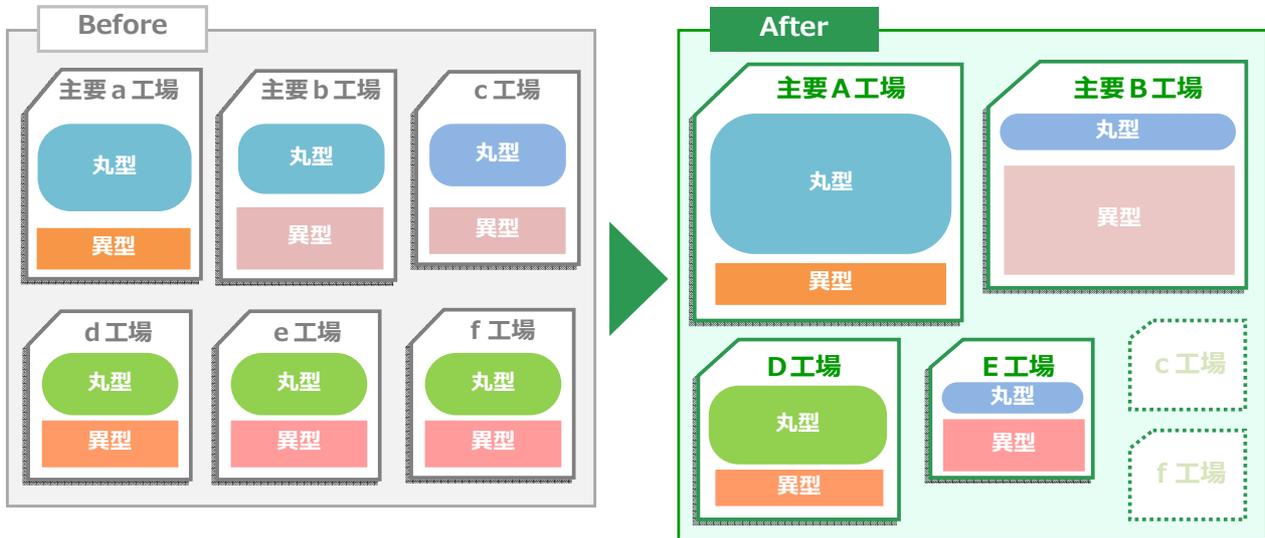
海外売上の拡大

POINT3

成長分野への注力

- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品**、**拠点の集約**、**再構築**
- 生産の**自動化**や**省人化**などの生産工程の効率化

製品、拠点の集約イメージ



※ BCP対応のため、完全特化型の工場とはしない予定

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

30

- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品**、**拠点の集約**、**再構築**
- 生産の**自動化**や**省人化**などの生産工程の効率化

製品・拠点の集約、再構築の取り組み

<熊本製造所の増設計画について>

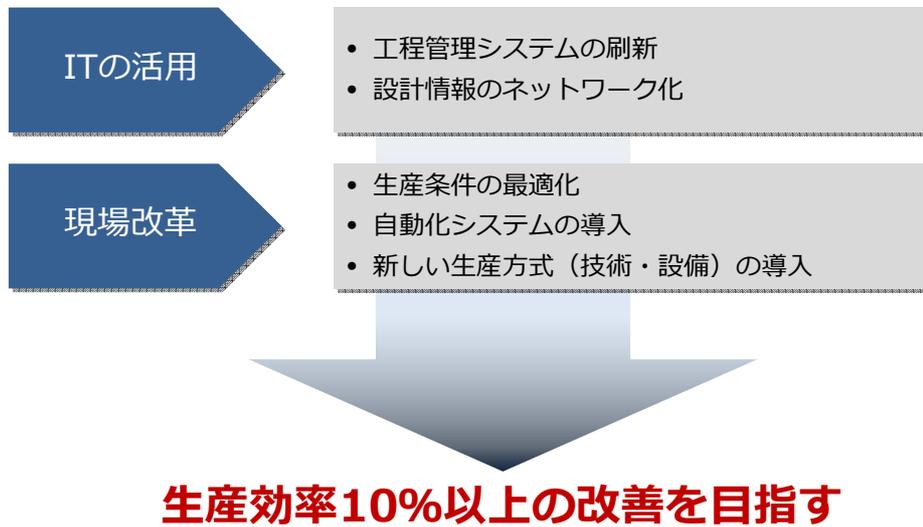
- 増設目的： 複雑形状（高付加価値）製品の集約化、生産能力増強・効率向上
- 敷地面積： 27,007㎡
- 延床面積： 9,599㎡（現行の6,018㎡から増床）
- 工事着工： 平成27年12月
- 操業開始： 平成28年12月予定（1次増設）
- 計画完了： 平成30年12月（予定）
- 投資金額： 19.8億円（3カ年）

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

31

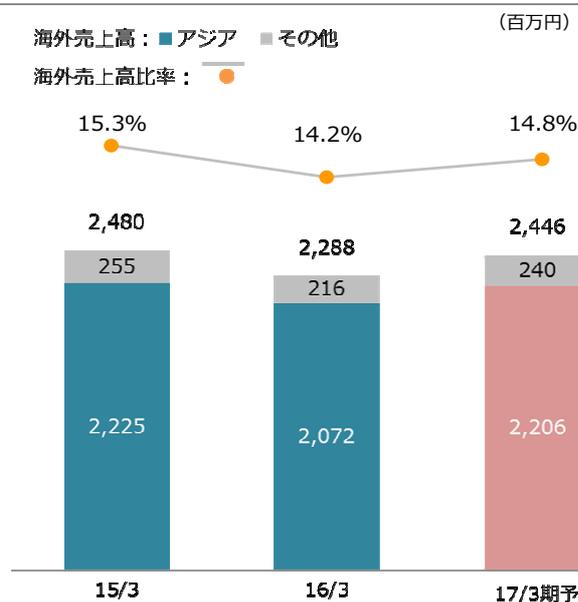
- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品**、**拠点の集約**、**再構築**
- 生産の**自動化**や**省人化**などの生産工程の効率化

生産改革の推進



- **自動車部品メーカー**向け拡販に注力
- **高付加価値製品**の販売を増加させていく

海外売上高・海外売上高比率推移



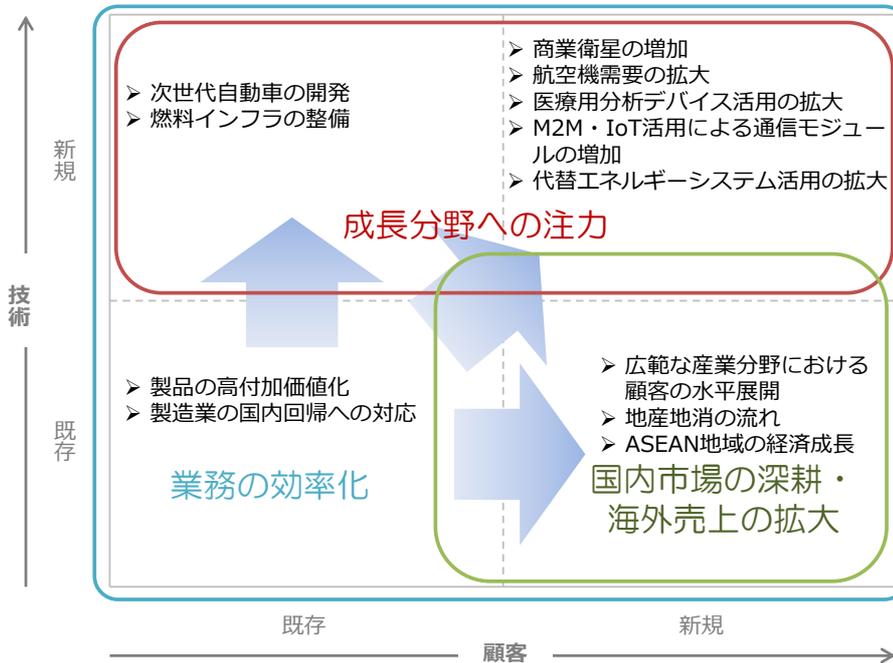
TOPICS：タイでの生産品目の拡大



FTC (Fujilloy Thailand co.,Ltd)

- FTCは当社のアジア戦略における販売・生産の主要拠点として位置付け
- より高度化する市場ニーズに対応するべく、異形金型や高精度丸物金型などを生産可能な体制を構築していく

- 継続成長を目指し、恒常的に業務の効率化を進め、経済成長が見込まれるアジア地域を中心とした海外売上の拡大を図るとともに、成長分野への研究開発に注力していく



成長分野の進捗状況

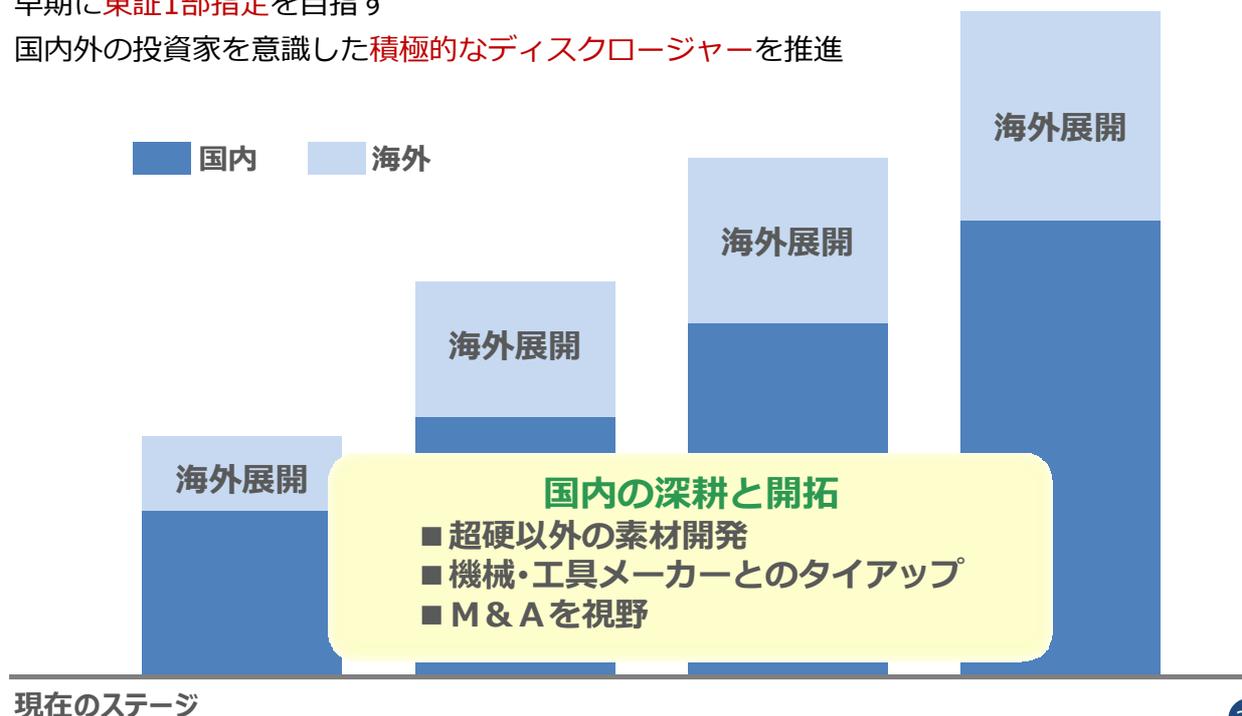
分野	概要	素材	優位性	進捗状況	販売時期(予定)		
					2015年	2016年	2017年
次世代自動車	①モーター用抜き金型	①超硬合金	①特許取得	①サプ [®] ル準備中		●	→
	②車載電池用金型	②超硬合金	②特許取得	②販売中	→		
	③過給器用機械部品	③複合材料	③コスト低減	③サプ [®] ル出荷済		(未定)	
航空・宇宙	①航空機エンジンタービン加工向け工具	①セラミックス	①特許取得	①販売中 (量産体制構築中)		●	→
	②燃料ポンプ用摺動材	②複合材料	②環境対応	②サプ [®] ル出荷済		(未定)	
医療・化粧品	①分析マイクロチップ用金型(μ-流路)	①超硬合金	①加工技術	①サプ [®] ル準備中		●	→
	②ドラッグデリバリーシステム用金型	②複合材料	②加工技術	②サプ [®] ル出荷済		●	→
環境・エネルギー	①半導体向け高熱伝導用素材	①複合材料	①特許取得	①販売準備中		●	→
	②高圧合成法を用いた触媒	②新物質	②特許取得	②サプ [®] ル準備中		(未定)	
その他	①赤外線レンズ用金型	①複合材料	①特許出願	①サプ [®] ル準備中		●	→
	②高圧発生装置用素材	②超硬合金	②特許取得	②販売中	→		

圧倒的な技術力を生かし持続的成長を目指す

配当性向50%を目処とする株主還元

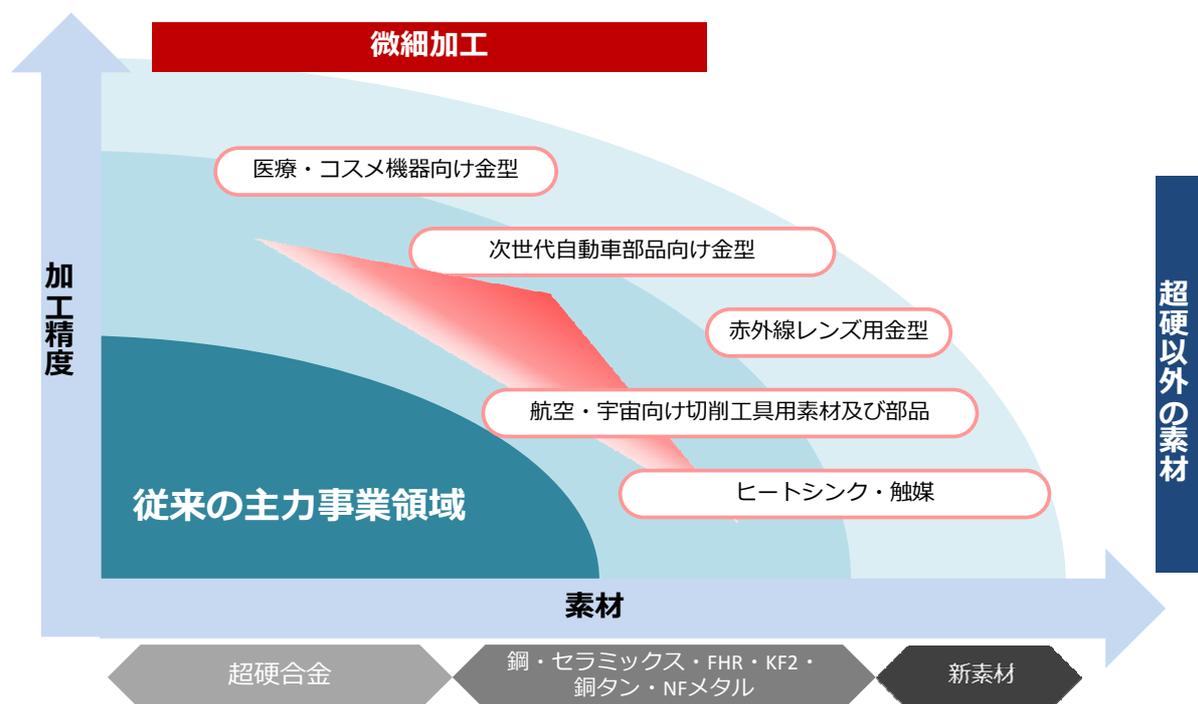
早期に東証1部指定を目指す

国内外の投資家を意識した積極的なディスクロージャーを推進



	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2016年3月期 業績概要	17
IV : 2017年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	37

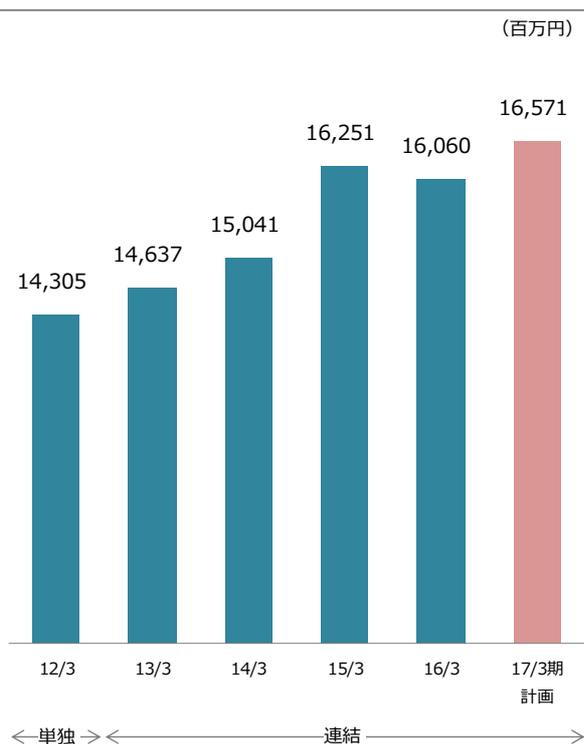
- 粉末冶金技術を駆使した**新材料**の研究開発を強化し、**耐摩耗工具以外**へ進出
- **高精度かつ超精密加工技術**に関する研究開発を進展させ、**新しい産業分野**を開拓



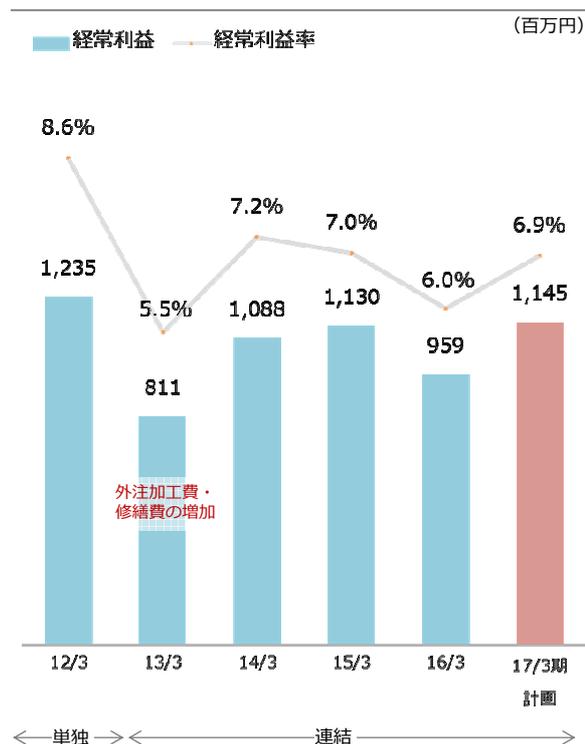
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移 1/3

売上高

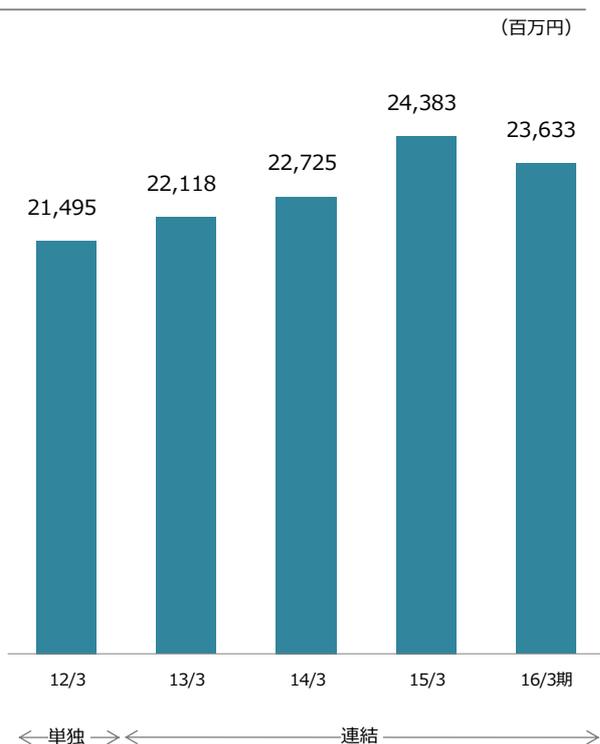


経常利益

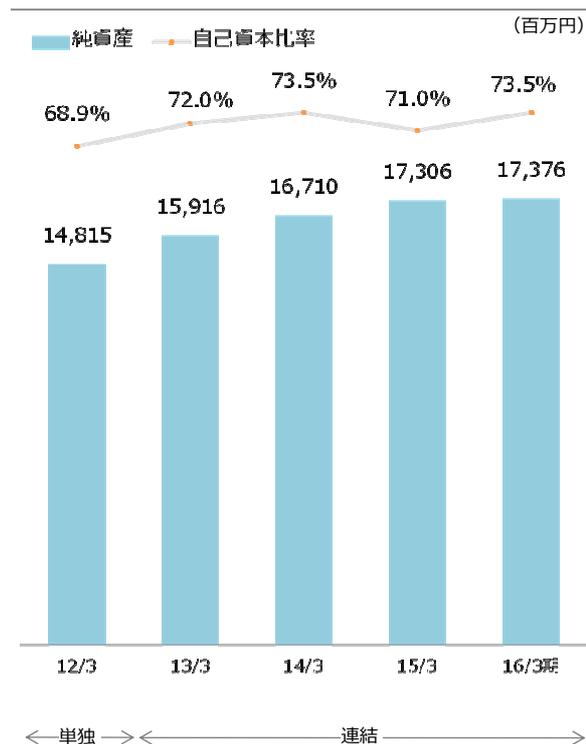


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

総資産

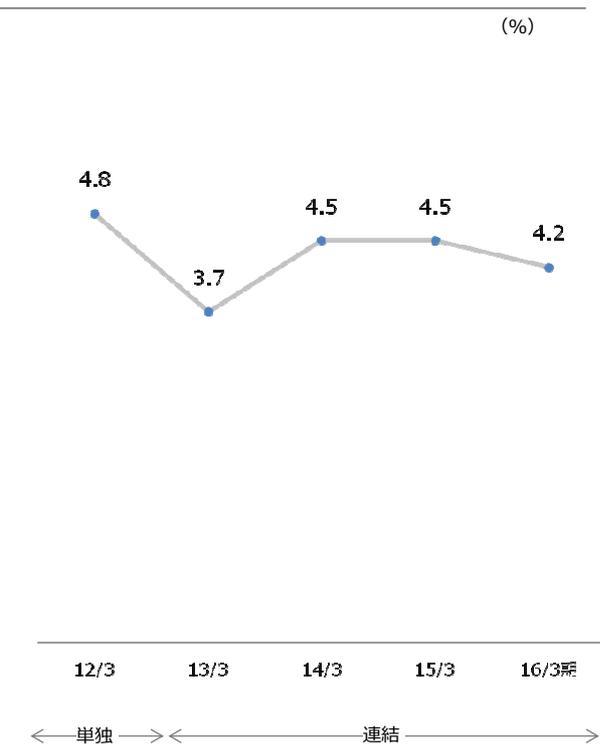


純資産



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

ROE



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性(市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等)が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。